
えっちな女子を調教

ボスーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

えつちな女子を調教

【Zコード】

Z65340

【作者名】 ボスーン

【あらすじ】

女子の9割が自慰行為をしている。それを知った正宗は狙った女子を自分の好きなように調教していく。
女子はただ快感に溺れるだけであった。

～女子の貌は自慰をしています～（前書き）

エロいの駄目な人は見ないで下さい。

そしてエロいの好きな人、楽しんで読んで下さい（笑）

結構頻繁に更新するつもりです。

～女中の観は自慰をしてこまや～

俺、三上正宗は知っている。

女を簡単に自分の物にする方法を。

女子中学正の9割が自慰を経験しているのを君達は知っているかな？

つまり、女子が隠し持つてゐる淫乱な心をくすぐつてやれば簡単なもの。

紹介が遅れた。俺は三上正宗、14歳中2だ。

わあ、この小説を楽しんでくれ。

「小島茜です、北原中学から転向してきました。よろしくお願いします！」

中学2年生の夏休み明け、俺のクラスに女子が転向してきた。

顔、スタイルは俺好みにぴったりだ。

あいつを初めの俺の女にする……そう決めた。

茜「よ、よしへ。

茜とやうは俺の隣の席だった。

正宗「よひか。茜やうた。

茜「えへへつ

少し照れていようだった。

性欲が高ぶった。

正宗「今日放課後皆で歓迎パーティーするよ。

俺は茜だけに聞こえるようになつた。

茜「本当?・ありがとー。」

正宗「ちょっと準備もあるから放課後になつたら隣の視聴覚室で待つててね。」

茜「わかった。」

このクラスで歓迎パーティーなんてあり得ない。

このクラスは団結力が無く、静かで暗いクラスで有名なんだから。

そして放課後になつた。

。

生徒が皆教室から出ていった。

俺は茜が待つてこむ視聴覚室に向かつた。

茜「あ、準備終わった？」

正宗「パーティーは中止。」

茜「え？」

おれは茜のスカートをこきなづおりした。

茜「やー。」

そしてすぐに携帯のカメラでパンツを撮った。

茜「やーーーな、何するのーー。」

正宗「騒いだり既にこの[トメ]一着送信するよ?」

茜「え……！？」

正宗「転向初日から何やってんだ、って旨 真に近づかなくなつち ゃつよ。」

西「や、やめて… お願ひ…」

正宗「じゃあ俺の話つけると聞け。」

茜「な、なによ…？」

正宗「ブランジャーを外せ。」

茜「え！？」

正宗「写メ皆に送信してもいいのか？」

西「ウ」

茜は背中に手を入れホックを外しブラジャーを外した。

茜「外したわよー。さつきの写メ消してよー。」

正宗「まだだよ。」

茜「ー?」

正宗「パンツもだ。」

茜「そんなん…」

茜は顔を赤くしてパンツをスカートの中で脱いだ。

。

正宗「茜ちゃん、頑張ってやりますよオナニーとかしてみるの？」

茜「わ、私はやめておこうかな。」

正宗「嘘つた、『メマジ』で送信するんだから。」

茜「し、してみるわよー。毎日してみるわー。」

茜「まじめ…」

正宗「今やれ。」

茜「えへへへへへへ。」

正宗「場所変えるか。」

そんなわけで女子トイレの一つの個室に俺達一人は入った。

俺がトイレにそのまま座り茜は俺の膝にじつちを向いて座らせた。

しかし茜は拒んだ。

正宗「早くここに座れ。」

茜「もうせだ、もうせだよ……」

茜は涙目だった。

正宗「早くしろ。」

茜は足を開いて俺の膝に股がつた。

するとスカートの中から少し秘部が見えた。

茜「見ないでえ……」

正宗「オナニーしない。」

茜「そんなん……」

正宗「殴るべ。」

茜「わわわ、わかつたわよ……」

茜は自分の乳首を制服の上からコロコロさせじめた。

茜「ん……」

正宗「イクまでやるんだべ。」

茜「わかつたわよ……」

茜はスカートをまくりあげ、秘部をいじりだした。

俺の目の前でだ。

茜「んん……あ……ー」

つこに茜は中指を秘部に出し入れしだした。

わづかの方の手はクリをこじつてこる。

茜「んーあんつーやんー」

茜の息が荒くなってきた。

正宗「いこや。一本指でやれ。」

茜「そんなのやつた」となにわ…」

正宗「やつてみりよ。」

茜は薬指もこっしょに出し入れしだした。

茜「ああつーはあつん、やあんーイ、イクうん…」

茜の体がビクンとはね上がった。

いつたらじい。

秘部からだらだらと液が垂れている。

正宗「お疲れ。」

俺はこのオナニーを全てムービーで撮影していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6534o/>

えっちな女子を調教

2010年11月1日23時33分発行